

九州大学

# キャンパスライフ・ 健康支援センター ご案内



キャンパスライフ・健康支援センター

<https://www.chc.kyushu-u.ac.jp/>

九大 健康

検索



ロゴマークについて

右端の花びらは、当センターの5部門(健康相談室、学生相談室、インクルージョン支援推進室、コーディネート室、健康情報推進室)が協働して支援に当たる、という意味を込めて添えられたものです。

上記のホームページでも詳しい活動内容・利用時間等をご確認できます。2026年4月1日作成



- ▶ コーディネート室
- ▶ 健康相談室
- ▶ 学生相談室
- ▶ インクルージョン支援推進室
- ▶ 健康情報推進室

キャンパスライフ・健康支援センター

<https://www.chc.kyushu-u.ac.jp/>

九大 健康

検索

電話や直接来室の相談も受け付けておりますが、下記QRコードのホームページ内にあるWeb相談受付フォームからお申込みいただくこともできます。



九州大学キャンパスライフ・健康支援センターには、医師やカウンセラーおよび保健師などによる健康相談、心理相談、障害者支援などさまざまな相談・支援窓口があります。九州大学の学生・教職員であればどなたでもご利用いただけます。

心身の健康面での心配、悩みがある学生および教職員の皆さま、どうぞキャンパスライフ・健康支援センターをご利用ください。

## キャンパスライフ・健康支援センター

### コーディネート室

学生や教職員、保護者等からの相談をお受けしています。また、学外支援機関と連携します。

### 健康相談室

風邪や腹痛、不眠、怪我などの診察、および生活習慣（運動、食事、睡眠など）に関する相談、支援を行います（学生・教職員対象）。定期健康診断も担当しています。

### 学生相談室

学生の皆さんが、学生生活や修学、進路、人間関係について悩みが生じたときに、相談することができる場所です。留学生の相談にも対応しています。学生に関するご家族や教職員からの相談もお受けしています。

### インクルージョン支援推進室

障害（慢性疾患・難病を含む）のある学生や教職員が安心して過ごせるよう、バリア（社会的障壁）を除去し、環境の整備を推進します。

### 健康情報推進室

授業等を通じて学生の健康づくり・セルフケアのスキルアップ教育や教材開発を進めています。また、セルフケア等に関するデータを収集し、学習や大学生活との関わりなどを分析してより良いキャンパスライフについての情報発信に取り組んでいます。

学生・教職員

- ・センターの相談窓口はすべての地区にあります（右ページ参照）。
- ・WEB相談フォームもご利用ください。（表紙のQRコードからアクセスできます）

## 相談受付窓口

伊都キャンパス ウェストゾーン  
伊都ウェストゾーン分室 ☎092-802-3297  
(ウエスト3号館3階)

伊都キャンパス センターゾーン  
本部相談室 ☎092-802-5881  
(ビッグさんど2階)

伊都センター1号館分室 ☎092-802-5859  
(センター1号館1階) E-mail: inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp



病院キャンパス  
病院分室 ☎092-642-6889  
(医系管理棟1階)



大橋キャンパス  
大橋分室 ☎092-553-4581  
(デザインコンモ2階)



### 筑紫キャンパス

筑紫分室 ☎092-583-8431  
(先端物質化学研究所1階)



※筑紫分室は一時移転のため、場所が変更となります。



## ➡ コーディネート室

コーディネート室では、本人(学生・教職員)及び関係者(保護者・教職員)からの相談に際して、ファーストコンタクト・ワンストップ的な機能を持ち、適切な学内外支援へつなぐ調整的役割を担っています。

### 1 学内外連携

学内各種相談窓口や、学外支援機関、関係者(保護者・教職員等)と連携することで、学生・教職員等の相談者や支援を要する本人・関係者へのサポートが円滑に行われるよう調整します。また、対応に困っている関係者に対し、コンサルテーションを行います。

### 2 早期対応

<学生>サポートが必要な可能性がある新入生への支援情報提供や早期の相談、単位取得が不調である学生(休学からの復学者を含む)を対象とした「スタートアップ説明会(9月・3月)」,特定の授業を連続で欠席した学生へのアプローチなどを行います。

<教職員>職場の上司や産業医、学外支援機関とともに、本人が必要な支援につながるができるよう早期から対応します。

### 3 緊急時対応

事件・事故・自殺等が起きた場合は、学内関係部署と連携して対応します。当センターで構成する事後対応チームの調整的役割を担っています。

### 4 心理教育的活動

授業や研修、グループ活動、セルフケア資料(心身の健康増進に関するセルフケア・スキルの情報を掲載)の作成・配布を通じて、学生や教職員に対して予防的・開発的な支援を行います。

### 5 全学の学生・教職員支援体制構築に向けた提言

様々なデータを分析し、学生・教職員のニーズ把握に努めます。また、キャンパスライフ・健康支援センター内の他部門と連携して、必要な支援体制の構築に向けた提言を行います。

※学生のキャンパスライフ・健康支援センターの利用情報に関する問い合わせには、学生の許可がない限りお答えすることはできませんので、予めご了承ください。(緊急時を除く)

## 【コーディネート室の取り組みの一例】



### 【セルフケア資料】

自身の不調に対して、自分でも何らかの対処ができるように必要な知識をテーマ別にまとめたリーフレットを、各地区のCHC分室に置いています。



### 【スタートアップ説明会】

基幹教育科目での履修に関する基本的な情報を得ることができる説明会です。

## 利用方法

- (1) 開室時間: 月～金(祝日を除く) 10:00～17:00
- (2) 予約方法: 相談は面談にてお受けしております。事前に電話、E-mailでご予約をいただくとスムーズにお話をおうかがいできます。  
TEL: 092-802-5881 E-mail: kucr@chc.kyushu-u.ac.jp
- (3) アクセス 〒819-0395 福岡市西区元岡744 伊都キャンパス ビッグさんど2階  
各地区への出張相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。



## 健康相談室

学生・教職員を対象に、以下のような業務を行っております。  
受診や相談に関するプライバシーは守られます、費用は一切かかりません。  
安心して利用してください。

### 1 一般健康相談(内科医・保健師)

内科医・保健師による一般健康相談と診療を行っております。病気や怪我に応じて、初期治療や適切な助言を行います。また必要に応じて学外の専門医への紹介をいたします。地区毎に相談日が異なりますので、各健康相談室にてご確認ください。

### 2 精神保健相談(精神科医)

精神科医が、メンタルヘルス向上を目指して治療のための助言を行っています。「眠れない」「気分が落ち込んでいる」「なかなか憂鬱が晴れない」「不安でたまらない」「イライラがひどい」「やる気が起きない」などの症状が出現した場合、ぜひ一度、精神保健相談を利用して下さい。ただし、診療は原則的に学生に限り、薬物は必要最低限の量と期間に限って投与いたします。症状が重い場合など、必要に応じて外部医療機関への紹介もいたします。地区毎に相談日が異なりますので、各健康相談室にてご確認ください。

### 3 健康支援・保健指導

生活習慣の改善指導、禁煙指導、感染症情報の発信などを行っております。身体測定(身長・体重・体脂肪率)・血圧測定ができます。

### 4 学生定期健康診断

毎年4月に、各キャンパスで学生定期健康診断を実施しています。みなさんの健康をチェックするために必ず受診してください。学生定期健康診断を受けた人は、健康診断証明書を自動発行機で受け取ることができます(無料)。

### 5 産業保健活動

大学内で働く教職員の健康および職場環境の向上と維持を目標に、幅広い活動をしています。



## 利用方法

(1) 開室時間: 月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

(2) 利用方法:

一般健康相談(内科医)は予約不要です。

精神保健相談(精神科医)は予約制となっております。

診療時間などは各相談室へお問い合わせください。

(3) アクセス

伊都地区センターゾーン健康相談室

092-802-5881(ビッグさんど2階)

伊都地区ウエストゾーン健康相談室

092-802-3297(ウエスト3号館3階)

病院地区健康相談室

092-642-6889(医系管理棟1階)

筑紫地区健康相談室

092-583-8431(先導物質化学研究所1階)

大橋地区健康相談室

092-553-4581(デザインコモン2階)

※筑紫分室は一時移転のため、場所が変更となります。ただし期日が流動的なためHPをご確認ください。



## ➡ 学生相談室

学生相談室は、全学の学生(学部生・大学院生)を対象とした相談室です。学生の皆さんの学生生活や修学・進路、人間関係についての相談を受けております。カウンセラーは全員が臨床心理士の資格を有しており、相談のプライバシーには十分に配慮いたします。また留学生の相談に関しては、外国語(英語・中国語)を話せるカウンセラーが対応いたします。各学部・学府の専門的内容の相談(履修の仕方、勉強の仕方、将来の進路など)については、必要に応じて各学部・学府の学生相談教員を紹介することがあります。

以下のようなさまざまな相談を受けております。



### 修学や研究・進路に関わること

- 入学はしたが、大学生活の目的が分からなくなった。
- 特定科目の勉強の仕方が分からない、あるいは全般的に単位取得が難しい。
- 進路変更(転学部や再受験など)を考えている。
- 研究への意欲が湧かず、大学に行きたくない。
- 就職活動がうまくいかず、どうしたらいいか分からず、苦しい。

### 人間関係や自分のあり方・性格について

- 友人との関係で悩んでいる。
- 人とのコミュニケーションをとるのが苦手で、友人をつくるのが難しい。
- 研究室での先輩や教員との関係で困っていることがある。
- 親との関係について、ふり返りたい。
- セクシュアリティのことで悩んでいる。

### 生活リズム、不登校、ひきこもりについて

- いろいろなことに興味が湧かず、大学に行きたくない気分が続いている。
- 朝起きるのが難しく、午前中の授業に出られず、1日休んでしまう。
- 大学に出られない日が続いている。

### 精神的な不調について・意欲がなく、元気が出ない。

- 気分が不安定で、物事に取り組むのが難しい。

### 休学や復学後の学生生活について

- 休学や復学について相談したい。

### 友達のこと

- 友人が元気がなく、最近大学に来なくなった。
- 周囲の人との関係で困っている友人がいるが、どう対応したらいいか。

### 学生生活でのさまざまな困りごと

- サークルやアルバイトで困ったことが起きた。
- 悪質な勧誘にあつて金銭的な被害を受けた。

### 留学や異文化について

- 留学することになったが、不安なことがある。
- 日本の文化や人間関係の特徴がわからない。
- 日本人学生と友達になれない。

### 利用方法

- (1) 開室時間: 月～金(祝日を除く) 9:00～17:00
- (2) 利用方法: 事前に電話、窓口での予約をお願いします。
- (3) アクセス

伊都地区センターゾーン学生相談室

092-802-5881(ビッグさん2階)

伊都地区ウエストゾーン学生相談室

092-802-3297(ウエスト3号館3階)

病院地区学生相談室

092-642-6889(医系管理棟1階)

筑紫地区学生相談室

092-583-8431  
(先導物質化学研究所1階)

大橋地区学生相談室

092-553-4581(デザインコモン2階)



↑Xはこちらから



↑Instagramはこちらから



# インクルージョン支援推進室

## 1 障害者支援の推進に関する全学体制の構築

全学的な支援を進めるために各部局・組織での協力体制の形成や、障害者支援に係る規則や制度の構築を行います。

## 2 修学・就労機会の保障

障害(慢性疾患・難病を含む)のある学生や教職員の相談を受け、合理的配慮申請のための面談を行うほか、修学・就労等における情報保障やコミュニケーション、アクセシビリティへの配慮、支援機器等の貸し出しを行います。

## 3 学内および地域との連携

大学合同説明会・オープンキャンパス等を通して、障害のある受験者に情報発信し、高大連携・接続を進めます。また、医療、福祉、就労、産業各領域の専門機関や学内関係部署との連携も行います。

## 4 空間のアクセシビリティ

本学の様々な専門的知見をもった教職員が「らくちんラボ」を中心に、学内のアクセシビリティについて検討を行い、障害者の目線に立ったキャンパス整備を行っています。

## 5 パーソナル支援

障害(慢性疾患・難病を含む)のある学生・教職員への合理的配慮に関する個別支援および障害のある学生を対象としたグループ活動やキャリア教育を実施しています。

## 6 アクセシビリティに関する教育

以下の授業科目によるアクセシビリティリーダー育成プログラムや各種研修(ノートテイク、手話、ガイドヘルプなど)を通して、学内のアクセシビリティ向上のための活動を行うアクセシビリティ・ピアサポーターを育成しています。

### 【基幹教育科目】

総合科目(フロンティア科目):「アクセシビリティ入門」「バリアフリー支援入門」「ユニバーサルデザイン研究」  
「アクセシビリティ支援入門」「アクセシビリティ基礎」

(オープン科目):「アクセシビリティ・ピアサポート入門」「アクセシビリティ・ピアサポート実践」

(高年次基幹教育科目):「アクセシビリティマネジメント研究」

### 【専攻教育科目】

教育学部:「アクセシビリティ心理学講義Ⅰ」「アクセシビリティ心理学講義Ⅱ」

「アクセシビリティ心理学演習」「アクセシビリティ心理学実践演習」

## 7 啓発活動・調査研究

教職員に対する研修会や実態調査研究等を通して、障害者支援に関する啓発を行っています。

## 利用方法

(1) 開室時間:月～金(祝日を除く)9:00～17:00

(2) 利用方法:随時相談を受け付けています。

事前に電話、E-mailで連絡をいただくとスムーズにお話をうかがえます。

合理的配慮の申請はこちらからもできます。 <https://rasys.kyushu-u.ac.jp/>

(3) アクセス

伊都地区 センター1号館1階

TEL 092-802-5859

E-mail: [inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp](mailto:inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp) メールアドレス



HP

Facebook



平成27年度授業で学生が作成したロゴマーク

「障害・社会のみかたが変わる、気づきスイッチオン！」



式典における情報保障



発達障害学生支援



発達障害に関する啓発マンガ



補助犬フレンドリーキャンパス

アクセシビリティ・ピアサポーターの活動

## 健康情報推進室

健康情報推進室では、学生・教職員の心身の健康支援や健康改善を目的とした集団健康支援(ポピュレーションアプローチ)に重点を置いた疫学調査・研究ならびに支援を実施しています。また、運動やリラクゼーションによる個別健康支援も行っております。

### (1) 学生メンタルヘルス調査

学生を対象とした支援業務として、生活習慣・メンタルヘルス疫学調査、英語授業実施の留学生の生活習慣・メンタルヘルス疫学調査を実施しています。

九州大学における学生アンケート調査による研究より  
「Let's健康生活!いくつか当てはまりますか?」

- 規則正しい生活ができている
- 一日の勉強時間が1時間以上である
- 一日のゲーム時間は1時間以内である
- 適度な運動を行っている
- 毎日朝食を食べている
- 食べたり食べなかったりすることはない
- 起床時間が午前7時より早い
- 飲酒の習慣がない

当てはまる項目が多いほど、  
修学に悩む学生が少ない  
ことがわかりました。



### (2) 総合体育館トレーニング室の環境改善の取り組み

総合体育館では、学生や教職員が心身の健康づくりのために、トレーニング室を利用できます。

健康情報推進室では、学部基幹教育の健康・スポーツ科目の授業と連携し、運動・トレーニングのため利用しやすい環境づくりを進めています。

課外活動施設の担当部署と協力し、設備の改善や効果的な運用方法を検討しながら、初心者から経験者まで誰もが安心して利用できる施設を目指しています。



### (3) 健康づくりのためのオンライン教材制作

学生・教職員を対象とした健康づくり支援業務として「だれでも、いつでも、どこでも」をモットーに、ITを用いた非対面生活習慣プログラムを作成し、提供するための実用研究を継続してきました。オンラインでの健康づくり支援のための動画を制作し、キャンパスライフ・健康支援センターのホームページに随時掲載しております。



●リラクゼーション実習編



●ストレッチング実習編



●ヨガ実習編



### (4) 健康・スポーツ科目:アダプテッドコースへの対応

健康・スポーツ科目班と協力してアダプテッドコースへの対応を行っています。

メールアドレス✉ [shpi.daihyo@chc.kyushu-u.ac.jp](mailto:shpi.daihyo@chc.kyushu-u.ac.jp)

